

利用学習計画書

平成24年4月26日

担当 第6学年 柳 弘子

1 ねらい

- ・文化施設や史跡などを実際に自分の目で見聞することで、学習の一助とする。
- ・縄文時代のくらしの様子に関心を持ち、進んで展示物や資料などから、必要な情報を集め、たんけんノートにまとめるなどの活動に取り組む。

2 評価

縄文時代のくらしの様子に関心を持ち、進んで活動に取り組むことができた。

3 学習活動について

- ・社会科「縄文のむらから古墳のくに」の発展教材として、見学、制作に取り組む。
- ・縄文時代の生活の様子に関心を持ち、進んで調べる。

4 事前指導

- ・縄文時代の生活の様子を確認する。
- ・施設についての概要をつかませる。
- ・施設利用に当たってのマナーを徹底させる。

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

- ・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定している。
- ・全体で館職員の説明を聞きながら学習（探検シート利用）する。
- ・探検シートを用いて班別に自主学習をする。

（2）体験学習 勾玉制作

7 当日の交通手段 市営バス

8 事後指導

ワークシートの記入

# 利用学習報告書

平成24年5月11日

担当 6学年担任 柳 弘子

## 1 事後指導

### (1) 実施日

平成24年5月8日(火) 3校時

### (2) 主な内容

縄文の森広場で見学や体験をしてわかったことや感想を班ごとにカードにまとめたり、ノートにまとめたりした。

## 2 送付する資料

児童のワークシート(1点 1グループ)

児童の感想(3名)

☆昔の人は、こんな知恵を使って生活していたことがわかりました。道具や食べ物などそのときにあった物がよくわかりました。

☆思った以上に家の中が広がった。寒さもあまり感じられませんでした。昔の人の知恵はすばらしいです。

☆生活しやすいように工夫していることがわかりました。人はそんな工夫をしながら今の生活になったことがわかりました。アクセサリーも手作りなんていいと思いました。

